

## 竹内 正(たけうち ただし)先生のプロフィール

●勤務先 竹内医院

●経歴 昭和55年 藤田保健衛生大学医学部卒業。第二病院外科学教室入局

研修医終了後、日本鋼管病院、静岡赤十字病院、大阪市阪和病院、京都府八幡中央病院などの病院に、外科医として勤務。

平成元年 愛知県知多市にて胃腸科、肛門科を標榜して竹内医院を開院。漢方診療を取り入れる。

●専門 血管外科、消化器科、肛門科。

### ◆先生が初めて漢方と出会われたのはいつ頃ですか

外科医として病院勤務をしていたころ、胃切除後の患者さんの中には、いつまでも、食事摂取が十分出来ないで、回復は遅れる方が多くみられました。

ある時、漢方診療を取り入れていた内科の先生に「試してみたら」と進められた補中益気湯の効果は、まさに衝撃的でした。



### ◆先生の御専門で漢方はどのような効果を発揮していますか

現在は、胃腸科、肛門科を専門に診療所を開業しています。

胃腸障害で来院する患者さんには、胃食道逆流症や過敏性腸症候群のような機能性胃腸障害をもつ方が多く、このような患者さんには漢方治療が特に有用です。

### ◆普段の治療で漢方薬と西洋薬との割合はどれくらいですか

高血圧症、糖尿病など生活習慣病の患者さんや外傷、風邪の患者さんの多くは西洋薬のみです。胃腸疾患やその他の慢性疾患で、漢方だけの処方と西洋薬との併用処方を合わせて、7割程度と思います。

### ◆10年後の漢方医療はどうなっている(またはどうあってほしい)とお考えですか

制度などにおいては、大きな変化は無いと思います。

ただ、医療関係者は勿論、むしろ一般の方々において、漢方診療に対する期待と要望は高まると思います。私達はそれに応えるべく更なる研鑽が必要です。



◆先生ご自身漢方を飲んで効果を実感なさったことがありますか

アレルギー性鼻炎で、春先は鼻水、鼻づまりに苦しみます。軽症の年は、新薬かエキス剤ですませますが、重症のときは煎じ薬を使います。

今年は、一時ひどくなり、小青竜湯加石膏(石膏15g)に人参1.5gを加えて一週間ほど飲みました。非常によく効きました。

◆これから漢方医を志す方に一言お願いします

良き師に巡り会えれば幸いです。研究会、勉強会に参加して、独学に頼る以外、勉強方法がない今の現状を改善できればよいのですが。

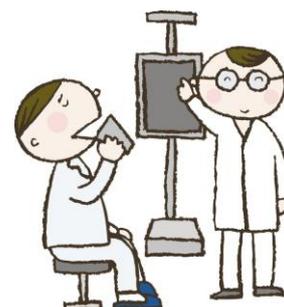
◆漢方に関心のある一般の方に一言お願いします

自己診断で漢方薬を飲まれることは、危険な場合があります。できるだけ、専門医の診察を受けられることを、お勧めします。

◆座右の銘、好きな言葉などありましたら教えてください

座右の銘はないのですが、『常に向上心を忘れないように、明日は今日よりよい診療ができるように』と思っています。

名医より良医といわれますが、患者さんにとって名医がいいにきまっています。今後も常に名医を目指して勉強をつづけていきたいと思います。



注意:先生へのインタビューは、当会が2008年7月に行った内容です。